

2021年度 第1回 土木学会 原子力土木委員会
議事録

1. 日時：2021年7月9日（金）13:00-17:30
2. オンライン 第1部 Zoom, 第2部 Webex
3. 出席者（委員および委員兼幹事）：中村, 小長井, 高田, 岩森, 蛭沢, 大野, 片岡, 國西, 笹田, 高岡, 高橋（一）, 高橋（智）, 高原, 武村, 谷, 佃, 土, 仲村, 奈良, 藤本, 藤原, 辨野, 堀江, 三島, 村嶋, 吉田（郁）, 吉田（進）, 吉田（英）, 吉村, 渡辺, 河井, 佐藤, 武田
出席者（幹事）：岡田, 熊崎, 佐藤, 重光, 吉井
出席者（常時参加者）：篠田, 澤田, 中田, 松尾, 松村（卓）, 松山

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料 21-1-1	委員名簿
資料 21-1-2	2020年度 第2回 原子力土木委員会 議事録
資料 21-1-3	原子力土木委員会規則
資料 21-1-4	原子力土木委員会運営内規
資料 21-1-5	運営内規一部改正の提案
資料 21-1-6	受託研究小委の設置審議について
資料 21-1-7	断層活動性評価小委員会
資料 21-1-8	基礎地盤の変形評価に関する研究小委員会
資料 21-1-9	津波評価小委員会
資料 21-1-10	リスクコミュニケーション小委員会
資料 21-1-11	規格・情報小委員会
資料 21-1-12	地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会
資料 21-1-13	地盤安定評価小委員会
資料 21-1-14	全国大会研究討論会
資料 21-1-15	全国大会共通セッション プログラム
資料 21-1-16	新分野4委員会連絡会（非公開資料）
資料 21-1-17	2021年度 予算案
資料 21-1-18	年間スケジュール

4. 議題（説明者）

【第1部】13:00-14:30 公開講演会

講演者：小長井 一男 先生（東京大学名誉教授、前原子力土木委員会委員長）
演 題：「もらいものの災難 - 電力・鉄道のライフラインと地震・地盤 -」

【第2部】14:30-17:30 委員会

- 1) 委員長挨拶（中村）
- 2) 前回議事録の承認（岡田）
- 3) 委員, 新規常時参加者及びオブザーバーの自己紹介（岡田）
- 4) 委員会規則および内規の再確認（吉井）
- 5) 委員会内規一部改正の提案（吉井）

- 6) 小委員会の設置審議（吉井，青柳，澤田，松山）
- 7) 小委員会の活動報告（篠田，松村，松尾，澤田）
- 8) 全国大会研究討論会の紹介（渡辺）
- 9) 全国大会共通セッションの紹介（岡田）
- 10) 新分野4委員会連絡会（岡田）
- 11) 2021年度予算案（岡田）
- 12) 年間スケジュール（吉井）

5. 議事録

1) 委員長挨拶

中村委員長より、「原子力土木委員会は前身時代も含めると1964年から存続する歴史のある委員会である。これまで、原子力に関する数々の方針・指針を作成してきており、その一部は電気協会の技術規定になっている。社会説明の変化や技術の進化もあり、昨年、当委員会の活動方針をレターとして委員会サイトに公開した。その中では①客観性・公開性の一層の確保、②社会への積極的な情報発信、③自主的かつ多面的な調査研究活動を活動方針として掲げている。2年間の任期となるが、この活動方針を具現化するためにも、それぞれの立場で忌憚のない意見をいただきたい。」との挨拶があった。

2) 前回議事録の承認

岡田幹事長より資料21-1-2により前回議事録（2020年4月開催分）が紹介された。内容について承認された。

3) 委員，新規常時参加者及びオブザーバーの自己紹介（岡田）

岡田幹事長より資料21-1-1に基づき2021年度原子力土木委員会名簿が紹介された。各委員・幹事・常時参加者より挨拶があった。また、岡田幹事長より出席委員および委任状を合わせて委員総数の2/3以上となったため、本委員会は議案の承認条件を満たしていることが説明された。

C: 原子力規制庁の方にも参加を打診しており、次回よりオブザーバーとして参加いただける予定である。

4) 委員会規則および内規の再確認

吉井幹事より資料21-1-3、4に基づき、委員会規則および内規の紹介があった。
質疑・コメントなし。

5) 委員会内規一部改正の提案

吉井幹事より資料21-1-5に基づき、委員会内規の改正案が説明された。
全会一致で承認された。

6) 小委員会の設置審議

吉井幹事より資料21-1-6に基づき小委の設置手続きが説明された。
質疑・コメントなし。

<断層活動性評価小委員会>

中田常時参加者より、資料 21-1-7 に基づき、「断層活動性評価小委員会」の設立趣意・活動内容が説明された。内容について以下の質疑があった。

Q：前フェーズの活動成果で研究論文になったものはあるか？あれば、委員会ホームページで成果を公開していただきたい

A：学会発表は何件かある。

C：活動方針として社会への積極的な情報発信を掲げているため、社会に発信していただきたい。

A：了解した。

小委員会の設置について審議した結果、小委員会の設置が全会一致で承認された。

<基礎地盤の変形評価に関する研究小委員会>

澤田常時参加者より、資料 21-1-8 に基づき、「基礎地盤の変形評価に関する研究小委員会」の設立趣意・活動内容が説明された。

質疑・コメントなし。

小委員会の設置について審議した結果、小委員会の設置が全会一致で承認された。

<第 8 期津波評価小委員会>

松山常時参加者より、資料 21-1-9 に基づき、「第 8 期津波評価小委員会」の設立趣意・活動内容が説明された。

Q：今期の成果は「原子力発電所の津波評価技術」にどのようなスケジュールで反映させていくのか？

A：「原子力発電所の津波評価技術」は 2016 年に改定し、その 10 年後程度が改定時期の目安と考えている。ここ 2、3 年で方針を議論していきたい。

C：新しい知見が蓄積されてきていると思うため、論文以外の成果物の作成も検討していただきたい。

Q：地震以外の津波というのは地すべり地震のみを指すのか？将来的には他の要因も検討していくのか？

A：これまでに地すべり以外にも、火山活動に起因する原因としてカルデラ陥没に伴う津波も検討してきた。海底地すべりの数値解析手法に技術的課題が残されており、検討課題の一つとなる予定である。他の原因による津波については、今後の必要性に応じて研究の要否を検討していく。

小委員会の設置について審議した結果、小委員会の設置が全会一致で承認された。

7) 小委員会の活動報告

<リスクコミュニケーション小委員会>

松村常時参加者より、資料 21-1-10 に基づき、リスクコミュニケーション小委員会の活動報告があった。奈良小委員長よりデルファイ調査の経過概要と今後の活動方針が紹介され、第 3 回デル

ファイ調査への協力依頼があった。

C：未回答の方については、ぜひ第3回デルファイ調査に協力をお願いしたい。

<規格情報小委員会>

篠田常時参加者より、資料 21-1-11 に基づき、規格情報小委員会の活動報告があった。

Q：WG1 の成果はいつであるか？

A：10月の原子力土木委員会に資料を提出する方針で作業を進めている。

<地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会>

松尾常時参加者より、資料 21-1-12 に基づき、地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会の活動報告があった。

Q：意見募集の対象は原子力土木委員会であるのか、小委員会であるのか？

C：両方で実施する。また、コンクリート委員会、構造工学委員会にも案内することを考えている。

Q：原子力土木委員会内部での意見募集は小委員会担当と考えているが、外部への意見募集は原子力土木委員会が担当すべきではないか？

A：原子力土木委員会への意見募集の段階で関係機関に適宜転送されることは想定済みなので、外部への意見募集を原子力土木委員会が担当していただければ良いと考える。刊行物の審議過程・意見聴取の仕方に関しては、大きな負担がかからないよう配慮していただきたい。

Q：成果物は原子力土木委員会名で出るので、意見募集も原子力土木名義で実施していただきたい。ただし、その対応には松尾常時参加者にも協力をいただきたい。詳細は別途調整させていただきたい。

A：成果物には小委員会の名前まで明記されて刊行される。外部への意見照会については相談させていただきたい。原子力土木委員会内への意見募集については作業を進めたい。

<地盤安定性評価小委員会>

澤田常時参加者より、資料 21-1-13 に基づき、地盤安定性評価小委員会の活動報告があった。

Q：申込期日後は登録できなくなるか？

C：土木学会を通しての登録はできなくなる。

Q：現在の登録者数は何名程度か？

A：定員 200 名に対し 130 名程度登録がある。残席は 70 名程度ある。

C：ぜひ関係者にお声がきいただき、登録していただきたい。

8) 全国大会研究討論会の紹介

渡辺委員より、資料 21-1-14 に基づき、本年度の土木学会全国大会研究討論会の企画案「原子力安全に係わる分野横断の壁の現状と打開の方向性」が説明された。続いて、蛭沢委員よりプログラム・話題提供者案が紹介された。

Q：話題紹介者については内諾を得ているか？

C：一部候補者については未確認である。

Q：当日は別件が入っており、申し訳ないが、対応できない。リスクコミュニケーション小委には他にも専門家がいるため、代理を推薦したほうがよいか？

A：ぜひ、お願いしたい。

C：リスクコミュニケーション小委内で確認したい。

C：話題提供について了解した。

Q：内容が重複しているものがあるので、話題提供の内容は調整させてほしい。

A：了解した。

C：関係者各位においては、ぜひ討論会に参加していただきたい。また、周囲にもお声がけいただきたい。

9) 全国大会共通セッションの紹介

岡田幹事長より、資料 21-1-15 に基づき、本年度の土木学会全国大会における共通セッションのプログラム紹介があった。近年電力会社からの論文投稿が減少しているため、次年度は是非投稿を検討していただきたいとのお願いがあった。

質疑・コメントなし。

10) 新分野 4 委員会連絡会

岡田幹事長より、資料 21-1-16 に基づき、第 8 分野の 4 委員会連絡会に関する報告があり、今後の当分野の方針について意見が求められた。

C：澤田先生が地震工学委員会の委員長を務められていたときの発案を基に当分野が作られた。しかし、分野横断的活動には総論賛成各論反対の傾向がある。再度、発案者である澤田先生の意向を示していただくのがよいのではないか。

C：そのような方針も含めて検討していきたい。

11) 2021 年度 予算案

岡田幹事長より、資料 21-1-17 に基づき、2021 年度の原子力土木委員会予算案が説明された。

C：ぜひ来年は B ランクを目指したいため、ご協力をお願いしたい。

12) 年間スケジュール

吉井幹事より、資料 21-1-18 に基づき、2021 年度の年間スケジュールが紹介された。

C：8 月 4 日に第 8 期津波評価小委員会で海底地すべりに関する公開講演会を実施予定であるので、参加をご検討いただきたい。詳細は後日連絡したい。

以上